

2019年(平成31年)2月オホーツク管内倒産集計

平成31年3月6日

株式会社 東亜リサーチ

北見市常盤町3丁目16番42号

Tel (0157) 23-6288

Fax (0157) 24-1033

2か月連続だが最少発生 累計件数・金額とも前年を上回る

発生件数1件、負債総額8,700万円

■前月比	件数	同数(平成31年1月)	1件
	負債総額	3,300万円増加(〃)	5,400万円
<hr/>			
■前年同月比	件数	1件増加(平成30年2月)	0件
	負債総額	8,700万円増加(〃)	0円

平成31年2月の発生状況

平成30年2月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)は、発生件数が1件、負債総額は8,700万円だった。

これは前月と比較すると件数は同数だが負債総額では3,300万円の増加。発生がなかった前年同月比では全増となった。

当月の1件は(株)紋別地区卸売市場(紋別市・生鮮類の卸売)で、販売先の廃業などから、売上はじり貧を辿り、事業を停止するとともに事後処理を弁護士に一任したもの。紋別市での倒産発生は30年5月以来となる。

過去5年間の2月の発生状況を見てみると26年2件、27年ゼロ、28年1件、29年4件、30年ゼロとなっており、平均では件数が1.4件、同負債総額では1億7,080万円。今年は1月に続いて小規模の最少発生に止まり、件数及び負債総額ともに平均値を下回った。

過去5年間と今年1～2月の発生推移

今年1～2月の発生累計は件数で2件、負債総額は1億4,100万円となった。発生がなかった前年同期間と比較すると全増。過去5年間の発生推移は【下・表】の通りで、平均件数は2.4件、同負債総額は3億1,560万円となっており、前年と比較すると増加しているものの、平均では件数は平均値内、負債総額は半数以下の数値となっている。

地区別発生では紋別市1件、美幌町1件。業種別では卸・小売1件、飲食・ホテル1件。主要因別では販売不振が1件、その他1件。表面化別では法的処置1件、弁護士一任1件となっている。

過去5年間と今年1～2月の件数・負債額

年 別	件 数	負 債 額
26年	3件	6億9,900万円
27年	2件	6,000万円
28年	2件	6億8,800万円
29年	5件	1億3,100万円
30年	0件	0円
31年	2件	1億4,100万円

1～2月主要因別倒産件数

主要因	30年件数	31年件数
販売不振	0	1
回収難	0	0
過当競争	0	0
連鎖	0	0
計画失敗	0	0
放漫経営	0	0
旧債重荷	0	0
代表死亡	0	0
その他	0	1

31年月別倒産件数・負債額

年月別	件数	負 債 額
1月	1件	5,400万円
2月	1件	8,700万円
3月		
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		
合 計	2	1億4,100万円
30年合計	0	0円
前年対比	2	1億4,100万円

1～2月地区別倒産件数

地区	30年件数	31年件数
北見市	0	0
網走市	0	0
紋別市	0	1
常呂郡	0	0
網走郡	0	1
斜里郡	0	0
紋別郡	0	0

1～2月業種別倒産件数

業種	30年件数	31年件数
農・林・漁業	0	0
建設	0	0
製造	0	0
卸、小売	0	1
サービス	0	0
飲食・ホテル	0	1
車輛	0	0
運輸	0	0
燃料	0	0
その他	0	0

1～2月企業形態別倒産件数

企業形態	30年件数	31年件数
株式会社	0	2
有限会社	0	0
特殊法人	0	0
個人	0	0

1～2月倒産表面化要因別件数

企業形態	30年件数	31年件数
法的処置	0	1
2回目不渡り	0	0
弁護士一任	0	1
その他	0	0

今後の見通しと問題点

3月に入り原材料や物流費のアップを要因に食料品をはじめとした値上が相次いでいる。10月には消費税増税が控えていることから、家計への負担増は必至。個人消費の回復が遅れているなか、消費が一段と冷え込む可能性もでてきており、小売、飲食、サービス業などへの影響が懸念される。また、原材料費の上昇を価格に転嫁できず、人手不足による人件費の高騰もあって資金繰りが悪化している小規模・零細業者が増えているなど不安要素は多い。今後こうしたコスト高によって業不振に陥った企業を中心に倒産が緩やかな増加基調を迎える可能性も否定できない。